

豊田PCB廃棄物処理事業の状況報告について

1 豊田PCB廃棄物処理事業の処理実績

(1) 豊田PCB廃棄物処理施設での処理実績

(表-1) PCB廃棄物の処理量 (中間処理完了ベース)

平成29年11月末現在

	(注1) トランス類 (台)				(注2) コンデンサ類 (台)				(注3) 廃PCB (本)	保管容器 (箱)	純PCB 処理量 (トン)
	大型	小型	車載	合計	健全品	処理手間物	小型機器 (10kg未満)	合計			
H17年度合計 (試運転物含む)	8	33	8	49	1,185	0	0	1,185	33	0	31.5
H18年度合計	19	55	3	77	1,592	13	0	1,605	1	0	63.7
H19年度合計	26	146	19	191	2,227	62	0	2,289	15	0	115.8
H20年度合計	36	242	26	304	3,743	93	0	3,836	30	0	186.5
H21年度合計	40	221	25	286	4,616	137	0	4,753	47	2	199.4
H22年度合計	33	135	19	187	3,528	242	0	3,770	56	10	159.9
H23年度合計	33	85	24	142	3,658	252	0	3,910	28	10	144.1
H24年度合計	40	147	33	220	4,923	203	0	5,126	64	17	217.9
H25年度合計	52	100	49	201	5,778	127	66	5,971	123	23	207.5
H26年度合計	41	50	57	148	4,798	1,031	44	5,873	22	197	214.3
H27年度合計	26	17	61	104	4,405	1,292	487	6,184	27	381	190.6
H28年度合計	27	17	58	102	4,392	825	2,103	7,320	93	396	165.9
H29年4月	1	1	5	7	334	123	414	871	2	20	17.6
H29年5月	1	0	8	9	535	78	240	853	1	46	19.6
H29年6月	1	0	4	5	341	56	106	503	1	21	5.4
H29年7月	1	0	10	11	433	162	104	699	7	105	19.6
H29年8月	0	5	5	10	434	96	579	1,109	7	31	19.9
H29年9月	2	3	7	12	361	143	583	1,087	8	41	18.8
H29年10月	1	2	4	7	436	118	371	925	7	22	18.8
H29年11月	1	1	6	8	178	67	102	347	9	4	8.1
H29年12月				0				0			
H30年1月				0				0			
H30年2月				0				0			
H30年3月				0				0			
H29年度合計	8	12	49	69	3,052	843	2,499	6,394	42	290	127.8
合計	389	1,260	(注4) 431	2,080	(※1) 47,897	(※1) 5,120	5,199	(注4) 58,216	581	(注4) 1,326	2,024.9

(注1) : トランス類とは、変圧器、変流器、リアクトル等を含む。大型トランスとは重量が1.62 tを超えるもの又は小型トランス解体ラインでは処理できないもの。

(注2) : 健全品コンデンサは連結コンデンサ、サージアブソーバーを含む。処理手間物は、寸法外・海外製・漏洩品のコンデンサ。

(※1) 大阪事業エリアのPPコンデンサ4,315台(健全品4,057台、処理手間物258台)を含む。

(注3) : 廃PCBとはドラム缶、ペール缶や試薬ビンに入った廃PCB油

(注4) : 他事業所に搬出し処理した車載トランス117台、炭化コンデンサ90台とその保管容器61箱は除く。

(2) 豊田PCB処理事業区域(東海4県1市)のPCB処理進捗(平成29年11月末データ)

JESCO登録実績に対する処理の完了状況を把握するため、中間処理の完了ベースで数を集計しています。

(表一 2) JESCO登録実績

※試運転搬入物を含みます。また、他事業所に搬出する車載トランス124台、炭化コンデンサ121台とその保管容器75箱含みます。

区域名称	事業場数	大型トランス 台数	小型トランス 台数	車載トランス 台数	コンデンサ 健全常品 (炭化込)	コンデンサ 処理手間物	小型機器 (10kg未満)	PCB油 缶数	保管 容器数
豊田市	300	0	10	0	5,384	1,008	246	17	326
愛知県	4,490	208	575	2	19,174	2,282	951	484	760
岐阜県	1,643	24	141	0	4,753	553	297	26	180
静岡県	2,724	48	386	798	11,940	1,169	6,413	234	767
三重県	1,219	149	221	0	6,825	638	5,253	183	827
合計：	10,376	429	1,333	800	48,076	5,650	13,160	944	2,860

(表一 3) 中間処理済台数

※試運転搬入物を含みます。また、他事業所で処理した車載トランス117台、炭化コンデンサ90台とその保管容器61箱含みます。

区域名称	事業場数	大型トランス 台数	小型トランス 台数	車載トランス 台数	コンデンサ 健全常品 (炭化込)	コンデンサ 処理手間物	小型機器 (10kg未満)	PCB油 缶数	保管 容器数
豊田市	289	0	10	0	5,356	873	71	16	300
愛知県	4,112	182	546	0	17,920	2,018	697	305	429
岐阜県	1,517	22	115	0	4,133	474	181	10	145
静岡県	2,502	43	372	548	10,653	954	1,759	138	367
三重県	1,161	142	217	0	5,868	543	2,491	112	146
合計：	9,581	389	1,260	548	43,930	4,862	5,199	581	1,387

(表一 4) 進捗率

区域名称	事業場数	大型トランス	小型トランス	車載トランス	コンデンサ 健全常品 (炭化込)	コンデンサ 処理手間物	小型機器 (10kg未満)	PCB油	保管 容器
豊田市	96.3%	—	100.0%	—	99.5%	86.6%	28.9%	94.1%	92.0%
愛知県	91.6%	87.5%	95.0%	0.0%	93.5%	88.4%	73.3%	63.0%	56.4%
岐阜県	92.3%	91.7%	81.6%	—	87.0%	85.7%	60.9%	38.5%	80.6%
静岡県	91.9%	89.6%	96.4%	68.7%	89.2%	81.6%	27.4%	59.0%	47.8%
三重県	95.2%	95.3%	98.2%	—	86.0%	85.1%	47.4%	61.2%	17.7%
合計：	92.3%	90.7%	94.5%	68.5%	91.4%	86.1%	39.5%	61.5%	48.5%

(注) コンデンサの処理台数には、大阪事業エリアのPPコンデンサは含んでおりません。

前回安全監視委員会資料（平成29年3月末データ）

（参考）

JESCO登録実績に対する処理の完了状況を把握するため、中間処理の完了ベースで数を集計しています。

（表－2）JESCO登録実績

※試運転搬入物を含みます。また、他事業所に搬出する車載トランス96台、炭化コンデンサ110台とその保管容器65箱含みます。

区域名称	事業場数	大型トランス 台数	小型トランス 台数	車載トランス 台数	コンデンサ 健全品 (炭化込)	コンデンサ 処理手間 物	小型機器 (10kg未 満)	PCB油 缶数	保管 容器数
豊田市	292	0	10	0	5,376	1,008	245	17	326
愛知県	4,273	208	575	2	18,889	2,233	878	440	659
岐阜県	1,586	24	141	0	4,694	524	293	23	168
静岡県	2,598	48	393	798	11,781	1,113	6,326	238	688
三重県	1,211	149	220	0	6,891	613	4,830	172	273
合計：	9,960	429	1,339	800	47,631	5,491	12,572	890	2,114

（表－3）中間処理済台数

※試運転搬入物を含みます。また、他事業所で処理した車載トランス76台、炭化コンデンサ79台とその保管容器50箱含みます。

区域名称	事業場数	大型トランス 台数	小型トランス 台数	車載トランス 台数	コンデンサ 健全品 (炭化込)	コンデンサ 処理手間 物	小型機器 (10kg未 満)	PCB油 缶数	保管 容器数
豊田市	285	0	10	0	5,346	872	71	7	268
愛知県	3,935	180	536	0	17,489	1,706	648	290	354
岐阜県	1,403	22	114	0	3,923	354	29	7	96
静岡県	2,391	40	371	458	10,052	903	668	124	242
三重県	1,131	139	217	0	5,428	464	1,284	111	126
合計：	9,145	381	1,248	458	42,238	4,299	2,700	539	1,086

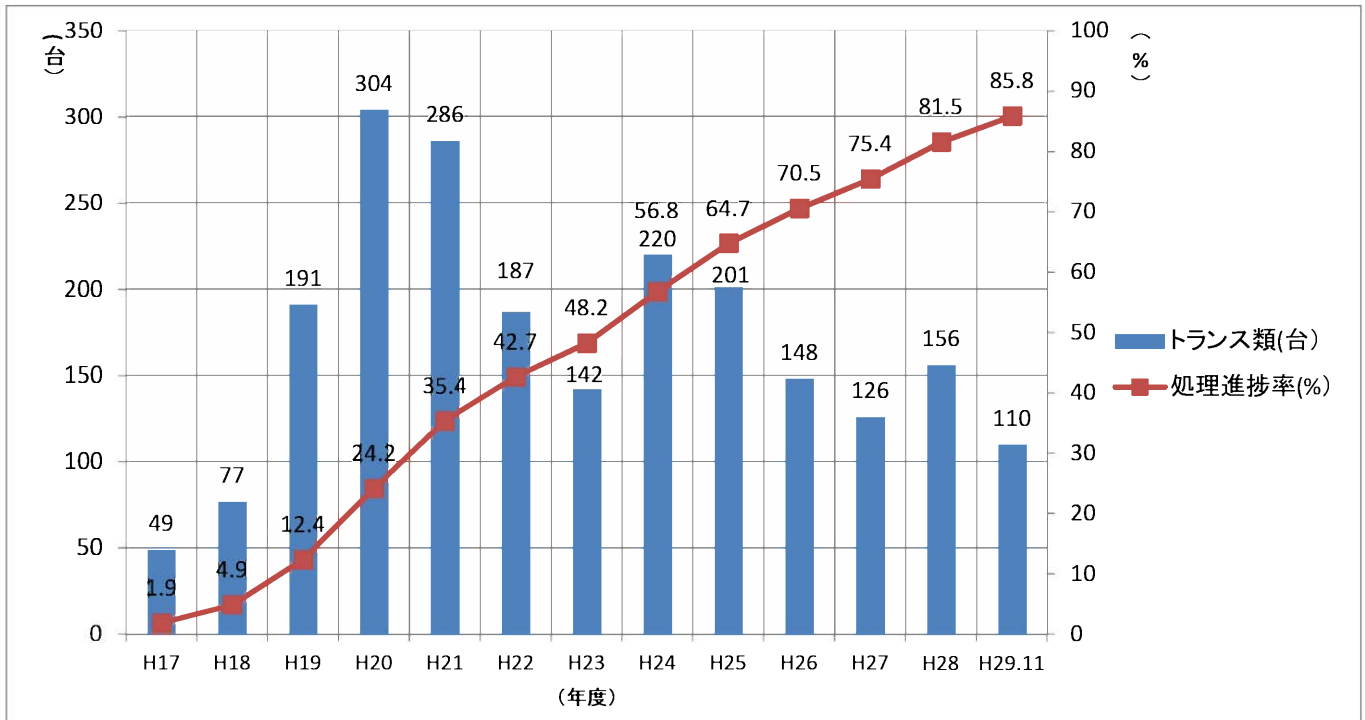
（表－4）進捗率

区域名称	事業場数	大型トランス	小型トランス	車載トランス	コンデンサ 健全品 (炭化込)	コンデンサ 処理手間 物	小型機器 (10kg未 満)	PCB油	保管 容器
豊田市	97.6%	—	100.0%	—	99.4%	86.5%	29.0%	41.2%	82.2%
愛知県	92.1%	86.5%	93.2%	0.0%	92.6%	76.4%	73.8%	65.9%	53.7%
岐阜県	88.5%	91.7%	80.9%	—	83.6%	67.6%	9.9%	30.4%	57.1%
静岡県	92.0%	83.3%	94.4%	57.4%	85.3%	81.1%	10.6%	52.1%	35.2%
三重県	93.4%	93.3%	98.6%	—	78.8%	75.7%	26.6%	64.5%	46.2%
合計：	91.8%	88.8%	93.2%	57.3%	88.7%	78.3%	21.5%	60.6%	51.4%

（注）コンデンサの処理台数には、大阪事業エリアのPPコンデンサは含んでおりません。

(グラフー1) 東海4県内のPCB廃棄物処理進捗状況(平成29年度11月末)

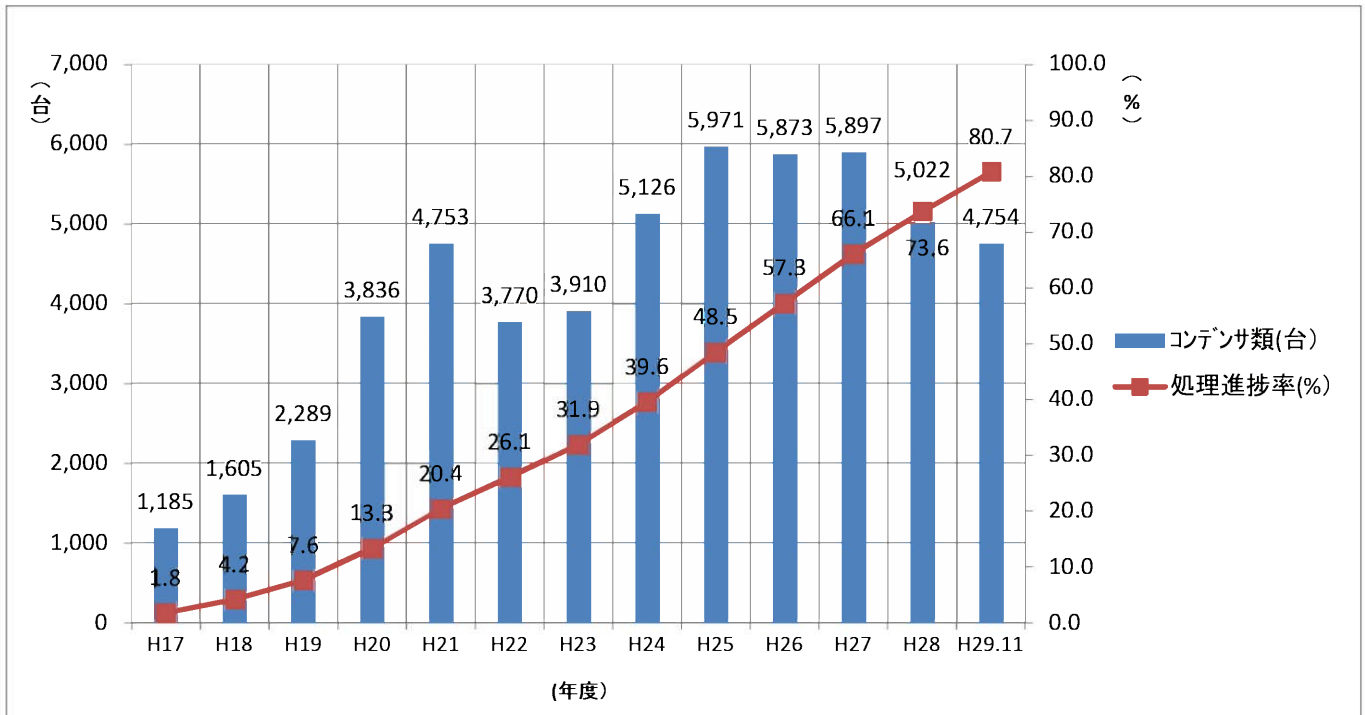
【トランス類】 中間処理完了ベース



年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29.11	合計
トランス類(台)	49	77	191	304	286	187	142	220	201	148	126	156	110	2,197
処理進捗率(%)	1.9	4.9	12.4	24.2	35.4	42.7	48.2	56.8	64.7	70.5	75.4	81.5	85.8	

※登録量(分母): H29年度11月末までのJESCO登録量=2,562台(地域間移動の車載トランス124台含む)
 ※実績量には、地域間移動量(車載トランス117台)も含む。

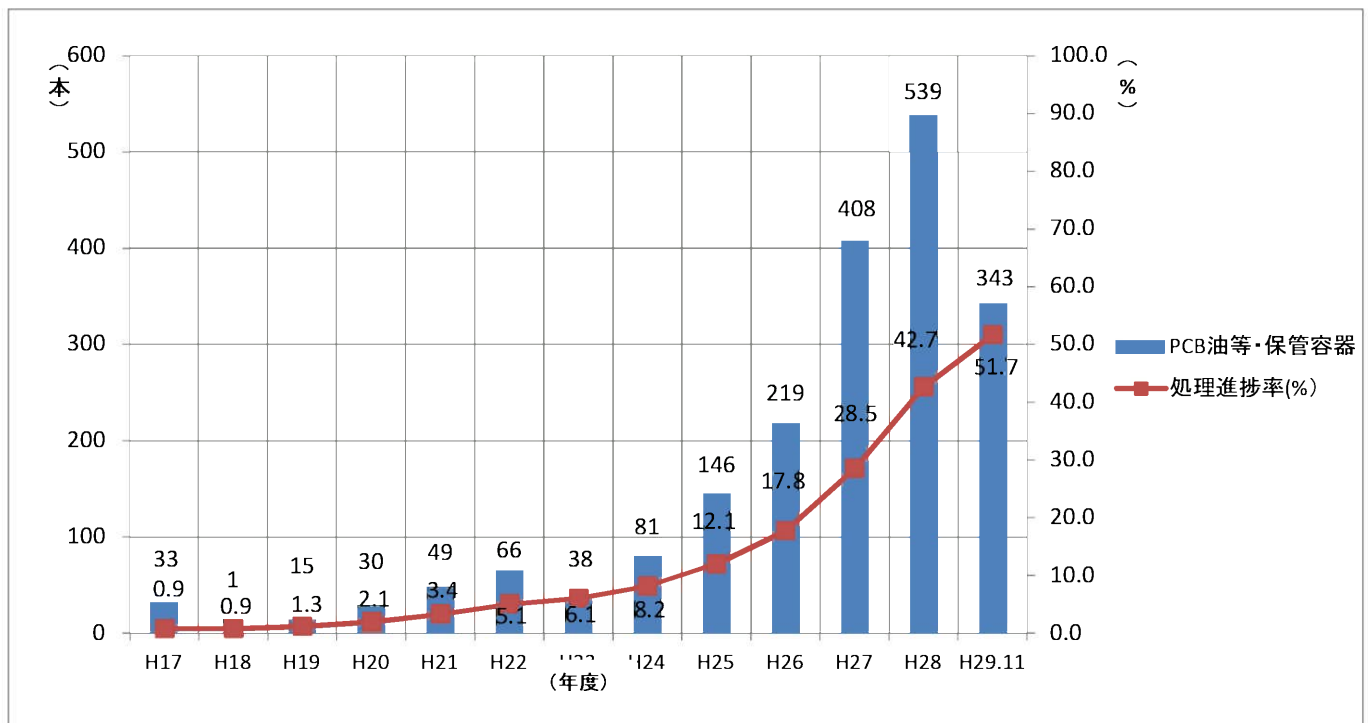
【コンデンサ類】 中間処理完了ベース



年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29.11	合計
コンデンサ類(台)	1,185	1,605	2,289	3,836	4,753	3,770	3,910	5,126	5,971	5,873	5,897	5,022	4,754	53,991
処理進捗率(%)	1.8	4.2	7.6	13.3	20.4	26.1	31.9	39.6	48.5	57.3	66.1	73.6	80.7	

※登録量(分母): H29年度11月末までのJESCO登録量=66,886台(地域間移動の炭化コンデンサ121台含む)
 ※実績量には、地域間移動量(炭化コンデンサ90台)も含む。
 ※大阪事業からのPPコンデンサは除く。

【PCB油等及び保管容器】 中間処理完了ベース



年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29.11	合計
PCB油等・保管容器	33	1	15	30	49	66	38	81	146	219	408	539	343	1,968
処理進捗率(%)	0.9	0.9	1.3	2.1	3.4	5.1	6.1	8.2	12.1	17.8	28.5	42.7	51.7	

※PCB油類には、保管容器を含む。

※登録量(分母): H29年度11月末までのJESCO登録量=3,804台(地域間移動の炭化コンデンサの保管容器75箱含む)

※実績量には、地域間移動量(炭化コンデンサの保管容器61箱)も含む。

2 東海4県内のPCB廃棄物の長期処理計画について

平成28年7月12日開催の安全監視委員会において、東海4県内のPCB廃棄物について、平成28年度当初の処理量予測及び年度別処理予測をお示しいたしました。1年が経過し、掘り起こし状況等を踏まえ、表-1のとおり見直しを行いました。

平成28年度末現在までに処理が完了した量と平成29年度当初の処理量予測を加えたものが、東海4県内のPCB廃棄物の総量であるとして、PCB廃棄物の種類ごとの年間処理見込数を考慮して、平成29年度以降の年度別処理予測をお示しいたしました。

(グラフ-1参照)

ただし、この予測はPCB保管事業者などがJESCOへの処理を順調に委託された場合であり、出し渋りなどにより、JESCOへの処理委託が遅れた場合には、処理完了が今回の予測より遅れることが考えられます。

(表-1) 東海4県内のPCB廃棄物の長期処理計画について

平成29年4月1日現在

区分	平成28年度末 処理量実績 (試運転含む) (※1)		平成28年 度末まで の処理 進捗率 (※2)	年間 処理見込 数(※3)	平成29年度当初の処理量予測						処理計画																					
					JESCO 登録 未処理量 (※4)	特措法届 出・未登録 (※5)	電事法届 出・未登録 (※6)	地域間 移動量	掘起 見込量 (※9)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度																	
																48	48	-	-	-	-	13	13	22	-	-	-					
大型トランス	381		88.8	30	48	48	-	-	-	-	13	13	22	-	-	-																
小型トランス	1,248		79.3	60	326	93	193	10	-	30	60	60	60	60	60	26																
車載トランス	豊田	382	458	57.3	60	260	260	-	-	-	60	60	60	60	20	-																
	【北九州・大阪・東京で処理】	76															-	82	82	-	-	-82	-	62	14	6	-	-	-			
コンデンサ	健全品	42,159	49,237 (PP除 く)	83.5	6,000 (※7)	8,313	5,456	1,183	874	-	800	3,000	3,000	2,313	-	-	-															
	健全品(炭化品)【大阪で処理】	79																15.8	421	421	-	-	-421	-	68	120	120	113	-	-	-	
	処理手間物	4,299																76.2	1,340	1,340	-	-	-	-	1,000	340	-	-	-	-	-	-
	PPコンデンサ(大阪)(※8)	2,664																-	2,310	2,310	-	-	-	2,310	2,010	300	-	-	-	-	-	-
	小型機器(10kg未満)	2,700																18.9	3,000	11,572	10,472	-	-	-	1,100	2,000	2,000	3,000	3,000	1,572	-	-
PCB油等	539		44.5	200	671	671 (※10)	-	-	-	-	67	121	200	160	123	-																
保管容器	1,036		37.5	400	1,726	1,726	-	-	-	-	400	400	400	400	126	-																
安定器・汚染物等【北九州で処理】	423t		23.3	-	1,390t	1,390t	-	-	-1,390t	(※11)	250t	285t	350t	350t	155t	-																

【留意事項】

※1 処理実績は、事業管理システムから、中間処理完了ベースで記載。

※2 処理進捗率＝平成28年度末処理量実績×100÷(平成28年度末処理実績＋平成29年度当初の処理量予測)

※3 過去の処理実績等から推計。

※4 JESCO登録未処理量は、H29年4月1日現在、JESCOに登録があるが、中間処理完了ベースで未完了の量を記載。

※5 特措法で届出されているが、JESCO未登録の量を記載。(平成29年10月見直し)

※6 電事法で届出されているが、JESCO未登録の量を記載。(平成29年10月見直し)

※7 健全品コンデンサとPPコンデンサと処理手間物を加えた全体の処理見込数。

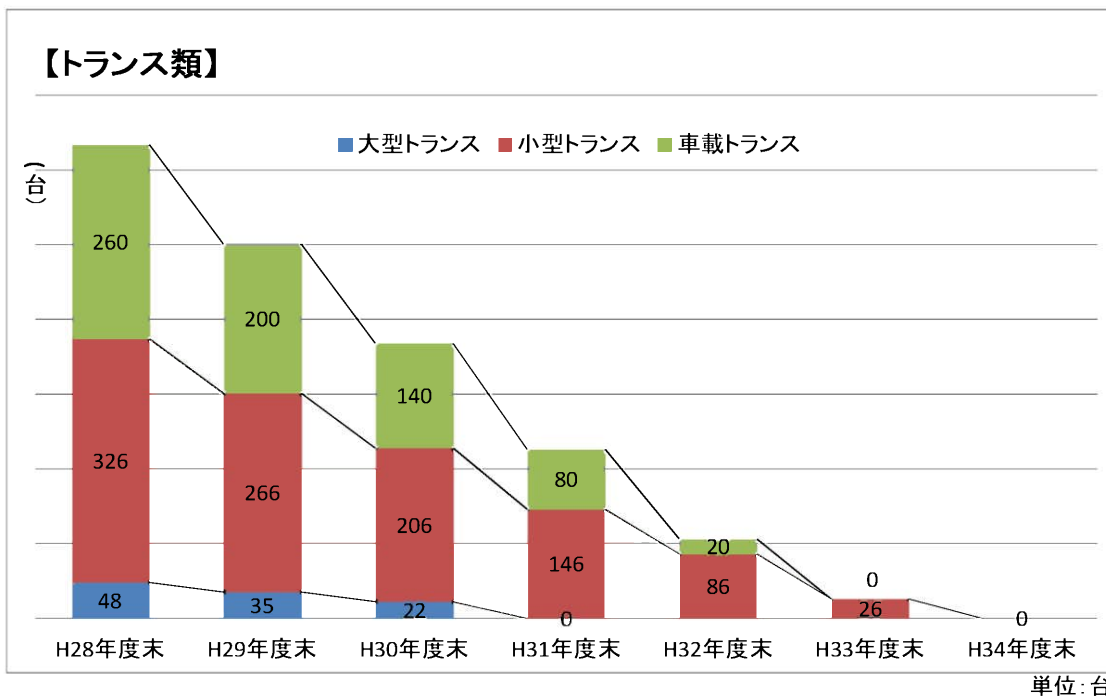
※8 大阪事業から地域間移動のPPコンデンサは、東海4県以外の登録量のため処理量実績から除外。

※9 北九州事業の実績を踏まえ、未処理量の1割程度が掘り起こされるものと想定。

※10 金属タンク8基をドラム缶に置き換えた293缶を含む。

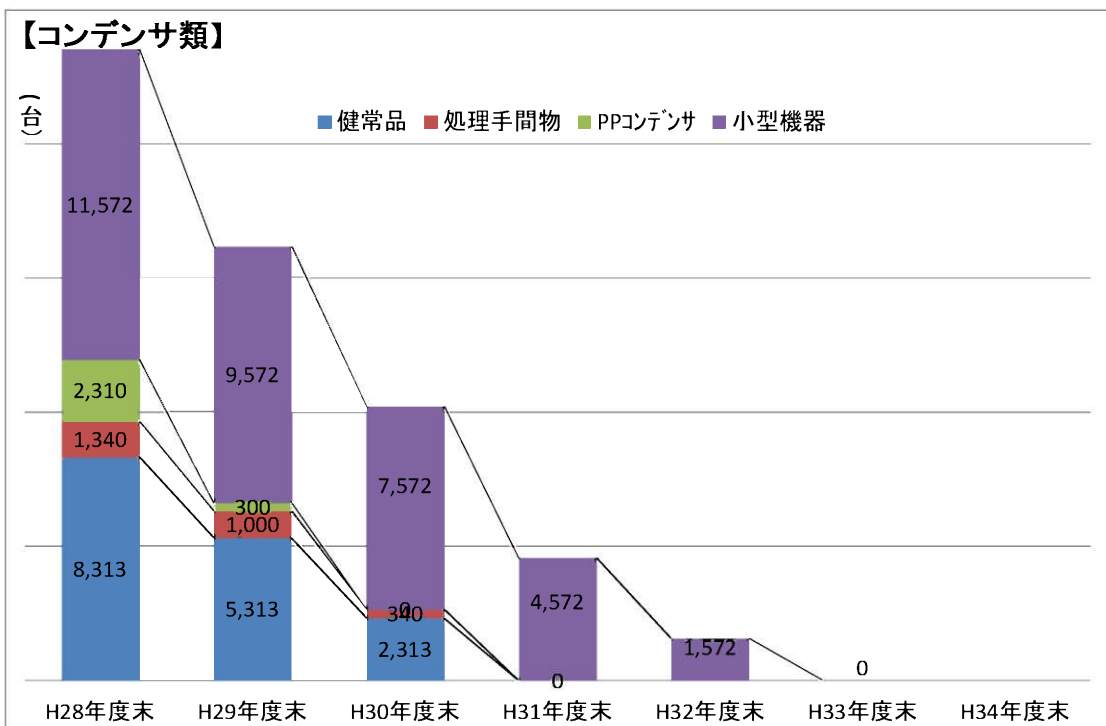
※11 現在掘起見込量の予測が十分できないため、空欄としている。

(グラフー1)平成28年度以降の東海4県PCB廃棄物の年度別処理予測



	H28年度末	H29年度末	H30年度末	H31年度末	H32年度末	H33年度末	H34年度末
大型トランス	48	35	22	0			
小型トランス	326	266	206	146	86	26	0
車載トランス	260	200	140	80	20	0	

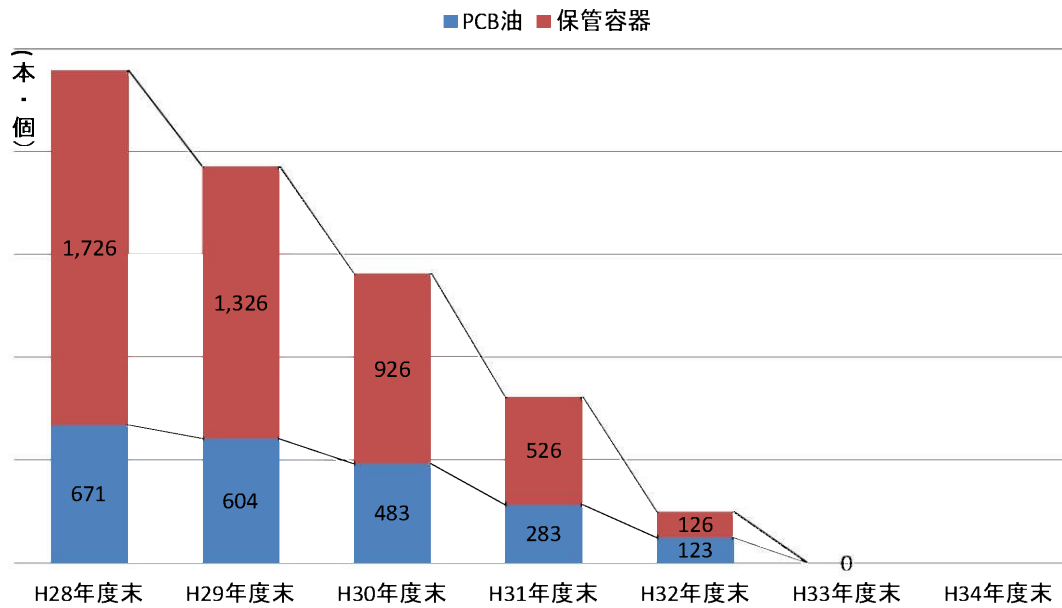
※車載トランスの地域間移動(北九州・大阪・東京)量82台は除く。



	H28年度末	H29年度末	H30年度末	H31年度末	H32年度末	H33年度末	H34年度末
健全品	8,313	5,313	2,313	0			
処理手間物	1,340	1,000	340	0			
PPコンデンサ	2,310	300	0				
小型機器	11,572	9,572	7,572	4,572	1,572	0	

※炭化コンデンサは、421台全量地域間移動(大阪)のため除いています。

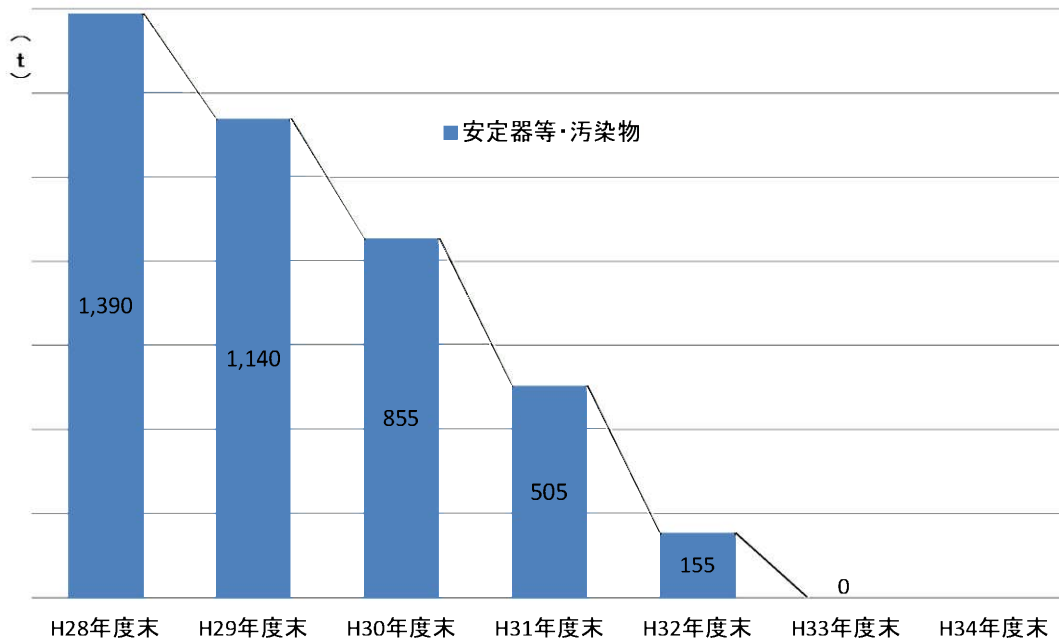
【PCB油・保管容器】



単位:本、個

	H28年度末	H29年度末	H30年度末	H31年度末	H32年度末	H33年度末	H34年度末
PCB油	671	604	483	283	123	0	
保管容器	1,726	1,326	926	526	126	0	

【安定器等・汚染物】



単位:t

	H28年度末	H29年度末	H30年度末	H31年度末	H32年度末	H33年度末	H34年度末
安定器等・汚染物	1,390	1,140	855	505	155	0	

※安定器等・汚染物は、地域間移動により全量北九州PCB処理事業所で処理。